

令和4年5月20日(金) vol.2

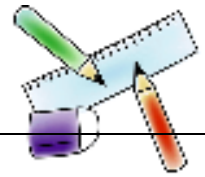
金の卵を目指して！

高校には、大きく分けて定時制と全日制2種類の学校があります。皆さんは、定時制に在籍していますが昔定時制高校の生徒を『金の卵』と呼んでいました。それを定時制と全日制の授業数の差をもとに考えてみたいと思います。

定時制と全日制の授業時間の違い【1週間】

	1時間の 授業時間	1日の授業 時間コマ数	1週間の授業 時間コマ数	1週間の 授業時間
定時制	45分(=3/4時間)	4コマ	4×5-1(HR)=19コマ	19×(3/4)=14.25時間
全日制	50分(=5/6時間)	6コマ	6×5-1(HR)=29コマ	29×(5/6)≒24.17時間

本校では通信科目があるので単純な比較はできませんが、1週間だけで約10時間全日制より授業の時間が少なくなります(24.17時間-14.25時間=9.92時間)。1年間に授業や考查があるのは約30週くらいなので1年間、卒業までと比較すると…。



定時制と全日制の授業時間の違い【1年間、卒業まで】

	1週間の 授業時間	1年間の 授業時間(30週)	卒業までの授業時間	
			3年間	4年間
定時制	14.25時間	14.25×30=427.5時間	427.5×3=1282.5時間	427.5×4=1710時間
全日制	24.17時間	24.17×30=725.1時間	725.1×3=2175.1時間	

計算すると1年間で約300時間、3年間で約900時間全日制より少なく、4年間でも約460時間少なくなります。本校は総合学科なので工業系列に進むとさらに5教科の授業の時間数の差は大きくなります。

授業時間が少ないのに、『金の卵』かと思うかもしれませんが、昔(今もいますが)定時制に通う生徒は、9時~17時の間、仕事に行ってから学校に通ってました。授業の時間数は少ないですが、勉強と仕事の両立は、全日制との授業時間の差を補うものとなります。そういう大変さを理解してくれる企業はたくさんあります。皆さんも、卒業までに将来の武器になるものを見つけられると良いと思います。1年生は、年齢的にアルバイトを見つけにくいかもしれませんが、ハローワークを通してアルバイトを探すと見つけやすいかもしれませんので担任の先生に相談してみてください。

